



ふれあいネットワーク

2021.8.25



社協だより*とうかい

—東海村社会福祉協議会が目指すもの—

「かけがえのない一人ひとりの想いと行動を紡ぐまちづくり」



～おかげさまで「社協だよりとうかい」は第100号を迎えることができました～

社協だよりとうかい第100号達成！！

「社協だよりとうかい」は、昭和50年6月に「福祉だより東海」として始まりました。平成14年7月から「社協だより」と名称を変更して第1号を発行し、今回、第100号を迎えることができました。これからも「社協だより」を通じて“福祉の今”をお届けしますのでご愛読ください。また、3ページでは、これまで「社協だより」に関わってくださった方々にインタビューをしていますので、ぜひご覧ください。

問い合わせ／村社協 ☎(282)2804

Pick Up !

特 集	新評議員・役員を紹介します 第100号記念インタビュー 地域福祉活動計画見直しのポイント P2～3
紹 介	地域のつながりづくり 「ぷらっとスマホ広場」開催 P4
募 集	養成講座のご案内..... P5
報 告	寄付報告..... P6
支援情報	介護のことなら～お気軽にご相談ください～ P8

新評議員・役員を紹介します

令和3年6月23日の定時評議員会をもって、前評議員・理事・監事の任期が満了しました。翌6月24日に新評議員・理事・監事を委嘱し、新たな体制でスタートしました。

新たに就任された評議員・理事・監事の皆さまを紹介いたします。



会長就任あいさつ

この度、会長に就任いたしました中村 正美^{なかむら まさみ}でございます。故黒羽根 弘一元会長^{くろばね ひろいち}からの想いを引き継ぎ、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。私ども東海村社協は、「かけがえのない一人ひとりの想いと行動を紡ぐまちづくり」を基本理念に掲げ、住民の皆さまとともに地域福祉の推進に取り組んでまいりました。

コロナ禍において各地域福祉活動が制限される日々が続いておりますが、安心して暮らし続けられるまちづくりを目指し、努力してまいりますので、引き続き皆さまのお力添えを何卒よろしくお願い申し上げます。

＜新役員（理事・監事）＞ (敬称略)

No.	役 職	氏 名	所 属
1	会 長	中村 正美	学識経験者
2	副会長	萩谷 毅彦	東海村民生委員・児童委員協議会 会長
3	副会長	茅根 元次	東海村地区社会福祉協議会会長連絡会 会長
4	理 事	小林 祐子	東海村教育委員 代表
5	理 事	宇佐美壽一	東海村ボランティア連絡協議会 会長
6	理 事	関田 秀茂	東海村福祉部長
7	理 事	岡崎 悟	東海村議会 代表（文教厚生委員長）
8	理 事	鹿志村 茂	社会福祉法人オックス・ウェルフェア 理事長
9	理 事	小林 明子	医療法人愛仁会 萬有の森メディック東海 施設長
10	理 事	榊原 美樹	明治学院大学社会学部社会福祉学科准教授
11	理 事	酒井 仁美	子育て世代代表・アレルギーをもつ子と親のサークルにんじん 代表
12	監 事	小室 秀昭	県北地域産業保健センター コーディネーター 元日立市社会福祉協議会事務局長
13	監 事	叶井 実	元中丸地区社会福祉協議会 会長
14	監 事	鴨志田和宏	いばらきコープ生活協同組合 常勤監事

任期：令和3年6月24日～令和5年6月定時評議員会まで



＜新評議員＞ (敬称略)

No.	氏 名	所 属
1	岡部ちい子	石神地区自治会 代表
2	照沼 忠三	村松地区自治会 代表
3	井上 一	白方地区自治会 代表
4	水口 智安	真崎地区自治会 代表
5	佐藤 信次	中丸地区自治会 代表
6	鹿志村直也	舟石川・船場地区自治会 代表
7	境 洋子	東海村母子寡婦福祉会 代表
8	寺門 裕美	東海村赤十字奉仕団 代表
9	相澤 祐一	東海村商工会 代表
10	岸 三男	東海村身体障害者福祉協議会 代表
11	笹嶋 士郎	東海ライオンズクラブ 代表
12	橋本 壽郎	東海那珂ロータリークラブ 代表
13	黒羽根史朗	東海保護司の会 代表
14	宮部 芳典	東海村高齢者クラブ連合会 代表
15	中村 正和	特定非営利活動法人 ドリームたんばぼ 理事
16	矢澤 和之	学識経験者
17	中川 輝夫	東海村子ども会育成連合会 代表
18	渡辺 克平	青少年育成東海村民会議 代表
19	川崎こずえ	子育て世代 代表（ファミリーサポートセンター「すくすく」協力会員）
20	浦野 泉	子育て世代 代表（朗読ボランティア「こだま」所属）

任期：令和3年6月24日～令和7年6月定時評議員会まで

問い合わせ／企画総務係 ☎(282) 2804

祝 社協だより第100号達成記念インタビュー！！

「社協だよりとうかい」にはこれまでたくさんの方々が登場してくれました。今回、第100号達成を記念し、「社協だよりとうかい」に関わってくださった方々に取材しました。



お二人は「福祉だより」第33号（平成14年3月31日発行）の表紙を飾っていましたが、当時のことは覚えていますか？また、保育園に通っていた子どもたちへメッセージをお願いします。



百塚保育所
ありか 久仁子さん

子どもたちは緊張しながらも高齢者と話をしたり握手したりしていました。高齢者の方々も気軽に話しかけてくれたのでだんだんリラックスできたようで、貴重な体験ができました。自分たちと同じく、人と関わる仕事を選んでくれた子どもたちもいて嬉しく感じます。いろいろなことがあっても、大人としてお互い前向きに人生を楽しみましょう。いつかみんなと語り合いたいです。

保育士の道を選んだ理由や、有坂先生へのメッセージをお願いします。



さちのみ認定
子ども園
こばやし あさひ
小林 葵さん
(当時保育園児)

保育士を選んだ理由は、保育所時代に有坂先生が大好きで、先生のようになりたいと思ったからです。有坂先生が私の人生の目標です。有坂先生と同じ職業になれて嬉しいです。将来、一緒に仕事をしたり、合同で何かを作りたいです。



かのい める
叶井 実さん
(元村社協職員)

「社協だよりとうかい」に広報（編集）担当職員として携わっていただきました。いま振り返ってみて思うことや感じたことはありますか。

約5年間編集を担当させていただきました。編集会議は、多彩な紙面づくりに向けた多くのアイデアが出てきて楽しい時間でした。また、新聞用の辞書を片手に記事の言い回しに頭を悩ませたことも、今となっては懐かしい思い出となっています。第100号発行おめでとうございます。これからも発行を楽しみにしています。



問い合わせ／村社協 ☎(282) 2804

次なるステップに向けて！ 地域福祉活動計画の見直しを行いました

平成30年度から令和4年度の5カ年で策定されている第4次東海村地域福祉活動計画ですが、社会情勢や新たに発生したニーズを踏まえ、3年目にあたる令和2年度に見直しを行いました。

新型コロナウイルスの影響を受け10月からのスタートとなりましたが、令和3年5月に西田 恵子委員長から本会会長に対し、見直しに関する答申がなされました。

今回の見直しのポイントは、①コロナ禍における新たな生活様式の中で見直す必要がある事項はないか、②令和3年4月に施行された改正社会福祉法に基づき、地域共生社会の実現を目指し新設された「重層的支援体制整備事業」を見据え、必要な取組みや新たな連携先はないか、という2つの視点です。

時に緊急事態宣言が出され、会議の中断を余儀なくされましたが、オンラインツールを駆使して遠隔で会議を開催するなど工夫しつつ、住民を代表する委員の皆さまから活発な意見をいただきながら、多くの貴重な意見を反映し見直しを図ることができました。引き続き、地域福祉活動計画に基づき、東海村の地域福祉を推進してまいります。



▲会場とオンラインのハイブリット会議

問い合わせ／企画総務係 ☎(282) 2804

コロナ禍でも継続中！

地域のつながりづくりを紹介します @やまちゃん会



やまちゃん会は、平成 20 年 7 月に発足したサロンです。会員は年々増加し、現在は 35 名で毎週水曜日に和気あいあいとウォーキング等を楽しんでいます。

サロン発足当初は、ウォーキングが主な活動でしたが、その後、村の行事への参加や村外での研修、東海村産の食材を使った料理教室、そば打ち等、会員の希望により活動を広げてきました。

その他にも社会奉仕と参加者の健康維持を兼ねて、総合福祉センター「絆」の除草作業に協力しており、夏は心地よい汗をかきながら楽しんで行っています。除草作業終了後には冷たいクリームソーダを飲みながら、今後の計画や意見を出し合っているとのこと。

令和に入って会の活動はますます活発になっており、コロナ禍でも活動は継続されています。「これからも会員相互の理解を深め、新型コロナウイルスの収束を願いつつ、健康で生きがいを求めていきたい」「これからの人生 100 年時代を迎えられるよう研鑽を積みながら、明るく楽しい高齢者活動を続けていきたい」というメッセージをいただきました。



▲除草作業終了後の集合写真

活動時のワンポイントアドバイス

サロン等の地域活動で活用できる、手指消毒等の衛生講座の動画を村社協公式 YouTube で公開しています。ぜひ、地域活動の参考にしてください。



左の QR コードを読み取るか、YouTube で「東海村社協」で検索！

石神外宿一区のふれあいサロン「ひだまり」が県社協に取材されました！

YouTube で紹介されていますので、ぜひご覧ください。

右の QR コードを読み取るか、YouTube で「茨城県社会福祉協議会 東海村」で検索！

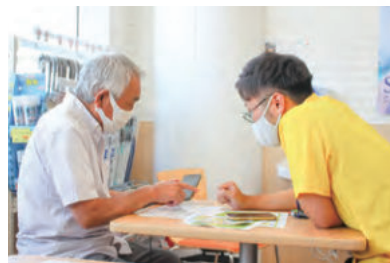


お店の一角でスマホ体験！「ぷらっとスマホ広場@ウエルシア」

7 月 15 日・8 月 2 日・23 日の全 3 回、ウエルシア東海舟石川店の店内スペースであるウエルカフェを会場に「ぷらっとスマホ広場@ウエルシア」を開催しました。この事業は、ICT の急速な普及に伴うデジタルディバイド（情報格差）の解消を目指し、普段デジタル機器を使い慣れていない方々を対象に、より生活に身近な場所で、使用方法をお伝えしながら、新たな地域の居場所づくりを整備していくことを目的としています。使用方法等の指導をソフトバンクに、会場提供をウエルシアに協力いただきながら、東海村との共催事業として実施しました。

内容は、スマートフォンなどのデジタル機器に触れながら、LINE などのコミュニケーションアプリの基本的な使用方法やキャッシュレス決済の使い方などをお伝えするといったもので、合間の時間には、行政や村社協の職員による生活相談等の時間を設け、多様なニーズに応えられるよう展開しました。また当日は、普段スマートフォンなどのデジタル機器の扱いに慣れている学生ボランティアや第一生命保険の企業ボランティアの方々にも操作のサポートに協力いただきました。

ウエルシアでの買い物中に立ち寄った方からは「買い物のついでだったが、分からないことが聞けて良かった」との声をいただきました。村社協としては、昨年度の「LINE はじめて講座」、今回の「ぷらっとスマホ広場」をはじめ、デジタル機器の使用方法をお伝えする出前講座を、地域の方々の居場所づくりと絡めて進めていく予定です。地区社協活動やサロン活動・高齢者クラブ・自治会活動等、地域からの要望にお応えしていきますのでぜひお声かけください。



問い合わせ／地域福祉推進係 ☎(282) 2804

ファミサポ「保育サービス講習会」受講生募集



ファミリー・サポート・センターでは、保育サポーターを養成する「保育サービス講習会」を開催します。講習会では、専門家の指導のもと、現在の子育て事情、子どもの病気や遊び・保育の心得など、子育て支援事業に従事するために必要な知識を学びます。保育サポーターとして活動したい方だけではなく、子育て中や孫育て中の方、知識を深めたい方など、どなたでも受講できます。ぜひご参加ください！！

- ☆ 期 日：10月4日（月）～11月18日（木）のうち7日間
- ☆ 時 間：各日2時間～3時間程度
- ☆ 場 所：総合福祉センター「絆」
- ☆ 対 象：村内在住（先着25名）※保育サポーター希望者優先
- ☆ 受講料：無料（別途テキスト代2,619円がかかります）
（無料で託児を利用できます）



※詳細は広報とうかい
9月10日号をご覧ください
たかか、下記までお
問い合わせください。

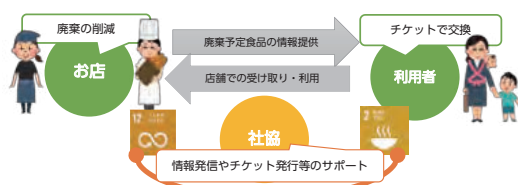
申込締切
9月22日（水）

問い合わせ／ボランティア・市民活動センター ☎(283)4538

フードロスマッチング事業 ～どうぞパスポート～ をはじめました！

村社協では、飲食店のフードロスと経済的に困りの方をマッチングする取り組みとして、「フードロスマッチング事業～どうぞパスポート～」を7月からはじめました。この事業は、賞味期限の短い調理済み食品をお店側のSNS等を通じて情報を発信し、あらかじめ利用登録をした方に発行したチケットと交換することで、廃棄食品の削減につなげる取り組みです。

現在、村内の飲食店等10店舗がこの事業の主旨に賛同いただき、パンやお弁当などの食品提供にご協力いただいています。村社協では、今後もさまざまな事業を通じて『食』の支援を行ってまいります。対象店舗の拡大も図ってまいりますので、ご興味のある飲食店の方は下記問い合わせ先までご連絡お願いいたします。



問い合わせ／地域福祉推進係 ☎(282)2804

ボランティア紹介 Vol.6

点字サークル ぶらいゆ



日常生活で点字サインを目にした時、丸い点が表す意味を考えたことはありませんか？点字は6個の丸い点の組み合わせで文字を表現し、視覚障がい者の暮らしを支える役割を担っています。

「点字サークル ぶらいゆ」では、広報紙等を点訳して視覚障がい者に情報提供したり、村内小学校で点字学習の指導をしています。大切な文字を届ける活動の見学も可能ですので、ぜひお問い合わせください。

問い合わせ／ボランティア・市民活動センター ☎(283)4538

▼活動写真



▼点字版「広報とうかい」



寄付報告（5・6・7月）※敬称略・受付順

皆さまからお寄せいただいた善意は、村社協が行う福祉事業や食糧支援に役立てています。

とうかい明日への架け橋基金募金

※この募金は東海村の子どもたちや経済的に困りの方のために活用されます。

ご芳名	金額
佐藤 正嘉	10,000
川崎 松男	10,000
匿名（2名）	103,820

善意銀行 金銭の部

ご芳名	預託金（円）
片根 宝山	50,000
佐藤 正嘉	10,000
松本 健吾	40,000
東海ライオンズクラブ	50,000
東海ライオンズクラブ50周年実行委員会	50,000
佐藤 雪	30,000
匿名（1名）	1,010



▲東海ライオンズクラブ様よりご寄付をいただきました

善意銀行 物品の部

ご芳名	預託品	活用先
坪 孝子	タオル、尿取りパッド、パジャマ	生活支援ネットワーク係
関岡 菜恵子	おもちゃ	障害者センター
坪 孝子	タオル、布団など	ボランティア登録団体
井上 さと美	おもちゃ	ファミサポ「すくすく」
相良 拓真	ファミリーゲート	子育て支援課
折り紙を楽しむ会	折り紙細工	地域福祉推進係
川崎 浩子	蛍光灯	生活支援ネットワーク係
佐藤 里沙	だっこひも、ベビーゲート	ファミサポ「すくすく」 とうかい村松宿こども園
折り紙を楽しむ会	折り紙細工	児童センター
鶴川 えみ	エコバッグ、小物入れ、コップ	生活支援ネットワーク係
井上 陽子	洗剤、制服、水筒	生活支援ネットワーク係
佐藤 元基	画用紙、折り紙	各村立幼稚園・保育所
稲田 佳純	おもちゃ	ファミサポ「すくすく」
川村 有紀	おもちゃ	児童センター
照沼 やえ	シーツ、タオル類	障害者センター ボランティア登録団体
石川 暢子	下着類	生活支援ネットワーク係
大久保 淑子	衛生品、日用品	生活支援ネットワーク係
黒沢 由美子	洗剤、石けん	生活支援ネットワーク係
地域包括支援センター	衣類、マグカップ	生活支援ネットワーク係
匿名 46件	村内小中学校（ジャージ、制服、バッグ）、日用品、下着類、衛生用品、絵本、エアコン洗浄スプレー、テレビ、IHヒーター、文房具類、タオル類、洗剤、衣類、アイロンビーズ、布団圧縮袋、除湿剤、浴衣、甚平、入浴剤、マスク、紙おむつ、人工肛門ケア消耗品、入れ歯洗浄剤、おもちゃ類、抱っこひも、半紙、石けん	生活支援ネットワーク係 児童センター、生活支援施設 障害者センター、村内幼稚園 居宅介護支援事業所 地域福祉推進係、企画総務係 居宅介護支援事業所 ファミサポ「すくすく」



使用済み切手・ベルマーク・未使用テレフォンカード・未使用はがき・書き損じはがきなど

ご芳名
日本原子力発電(株)、(株)アトックス東海営業所、樽本 康一、(一般) 総合科学研究機構、酒井 清、富永 寿子、井上 陽子、山岸 妙美、篠原 登、坪 ひろみ、緑ヶ丘区おいでマンド、東海村（住民課、総合支援センター）、三国屋建設(株)東海支店、シルバー人材センター、(株)ヤマガタオートサービス、石川 暢子、橋本機工金物(株)、県央福祉事務所、(株)堀田電機製作所、(株)照沼商事、大久保 淑子、緑ヶ丘笑遊会、(株)東海住宅、新島 一樹、吉成 智枝子、日本不動産管理(株)茨城支社、匿名（19件）

フードバンク

ご芳名
佐藤 房明、絆 BOX（役場）、大賀、(株)鈴木ハーブ研究所、大久保淑子、匿名（37件）

＜お詫び＞

2021年5月25日発行の「社協だよりとうかい第99号」に坪 孝子様・関岡 菜恵子様・日本原子力発電(株)様、(株)アトックス東海営業所様、樽本 康一様の掲載漏れがございました。ご迷惑おかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、本号にて掲載させていただきます。

問い合わせ／村社協 ☎(282) 2804

寄付を募集しています!!

※物品のご寄付をいただける場合は、**事前にご連絡ください。**

※直接お持ちいただいてもお受けできないことがありますので、ご了承ください。

募 集 内 容	希 望 部 署	募 集 内 容	希 望 部 署
●ハンドタオル ●てぬぐい ●タオルハンカチ ●リボン・シール（未使用のもの）	児童センター 	●スウェット（大人用） ●パジャマ上下（大人用） ●女性用下着	生活支援 ネットワーク係 
●シーツ ●バスタオル ●Tシャツ ●アイロンビーズ ●TVゲーム機（Wii） ●鉛筆削り器 ●フードプロセッサー ●うちわ ●浮き輪	障害者センター 	フードバンク ※未開封で賞味期限が2か月以上残っているもの ●めんつゆ ●パスタソース ●カップ麺 ●保存食品 ●スポーツドリンク ●ふりかけ・お茶漬け・のり ●インスタント食品・レトルト食品 ●ギフトパック（お歳暮・お中元など）	
●赤ちゃん用絵本 ●抱っこひも ●おもちゃ（幼児向け）	地域福祉推進係 		

「フードバンク」とは、いただき物や買いすぎてしまったものなど、ご家庭に眠っている食品を集め、食の支援を必要としている方へお渡しし有効に活用する活動です。

問い合わせ／村社協 ☎(282) 2804



←メールはこちらから



助け合いの気持ちをつなごう！「特設！きずなパントリー」開催

令和3年7月21日、総合福祉センター「絆」にて、「特設！きずなパントリー」を開催しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響等で生活にお困りの方のために、企業や住民の方からご寄付いただいた食料品や生活用品を提供し、95世帯の方の支援につなげることができました。利用された方からは「とても助かっています」「このような機会を設けていただいて感謝しています」といった声が聞かれました。

今回のパントリーでは、全国的な課題となっている「生理の貧困」にも対応するため、100セットの生理用品を会場に提供し、生理用品の購入が難しい状況にある方へ無償で配布をしました。

村社協では、フードバンク事業にて食の支援をしています。ご自宅に眠っている食料品がありましたら、村社協窓口または村役場・商工会事務所内に設置されている「きずなBOX」へお届けください。



生理の貧困とは？

経済的な理由などから生理用品を購入することが困難な状況のこと。



LINE



Facebook



Twitter



Instagram

問い合わせ／生活支援ネットワーク係 ☎(283) 0205



※新型コロナウイルス感染予防のため、やむを得ず中止・延期とすることがあります。

総合相談

日 時：月～金曜日
午前8時半～午後5時15分
相談員：社協職員、社会福祉士
弁護士・行政書士等
会 場：「絆」相談室

生活上の心配ごとや困りごとに関する相談に応じます。電話・匿名での相談も可能です。
※行政書士・弁護士などによる専門相談は、事前予約が必要です。

LINE相談



日 時：(相談受付) 随時
(返信) 月～金曜日
午前8時半～
午後5時15分
相談員：社協職員、社会福祉士等

直接話しづらい方や家族に相談内容を聞かれない方は、LINEでの相談に応じます。
QRコードからご登録ください。



就労体験相談会

日 時：第4木曜日
午後1時半～3時半
相談員：下記NPO法人職員
会 場：「絆」相談室

ひきこもりがちな方の就労や社会参加に向けた相談に応じます。事前予約が必要です。

予約申込み

茨城NPOセンター・コモンズ
☎(291)8990

申込み・問い合わせ／村社協(代表) ☎(282)2804

介護のことなら ～お気軽にご相談ください～

介護保険ってどんな時に使えるの…。

最近物忘れが心配だな…。

少しでも手伝ってもらえればまだ暮らせるかな…。

退院後の生活が心配…。

仕事をしながら家で介護できたらいいなあ…。

困っていることを気軽に相談したい。

村社協居宅介護支援事業所は、介護についての相談を受け付けています。

困りごとを一緒に考えていきます。どんなことでもお気軽にご相談ください。

※総合福祉センター「絆」へ来館するのが難しい場合は、ケアマネジャーがご自宅へお伺いしますのでお電話ください。

問い合わせ／居宅介護支援事業所 ☎(283)3410 月～金曜日／午前8時半～午後5時15分



児童センターで砂場開放を始めました。



児童センターでは5月に「1・2歳さんあつまれ」で砂場遊びを行いました。初めて砂場を体験する乳幼児も多く、恐る恐る砂を触っていましたが、少しずつカップに砂を入れたり、高いところから砂を落としたりと感触を楽しんでいました。2歳さんは「プリン作ったよ」「これはゼリー」と砂を型に入れて形を作り、食べる真似をしていました。1歳さんは、大きな山の上から水を流すと嬉しそうに水の流れを目で追い、水が砂に染み込んでいく様子をじっと眺めていました。

6月から毎週月曜日(事業が入っているときや雨天は中止)に、「砂場開放日」を設けました。午前10時半から11時まで、感触遊びを楽しんでみませんか。遊ぶときは帽子やタオルを忘れずに持ってきてくださいね。

*現在、児童センターのご利用は、午前9時半から11時半、1日20名までです。当日9時から電話予約制となっています。



問い合わせ／児童センター ☎(306)1017